

アメリカ法

第20回

丸山 英二

V. アメリカ契約法 訂正

補足・訂正

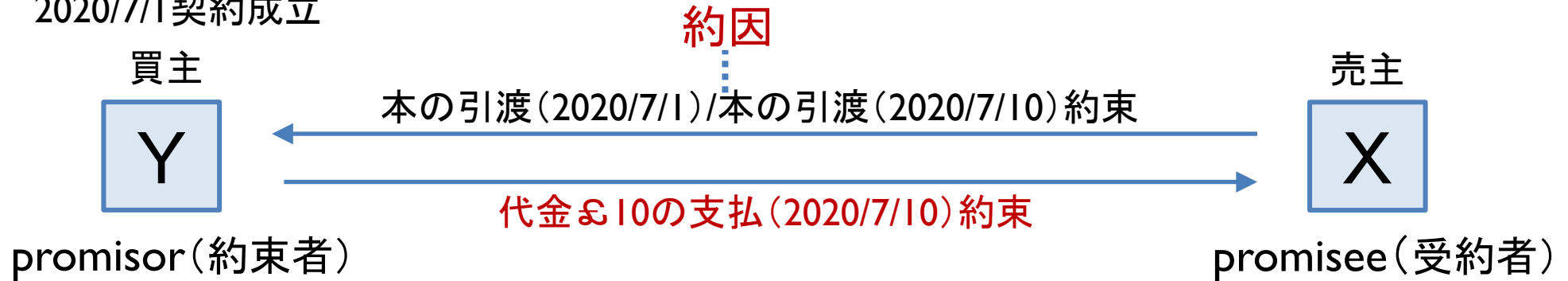
- (1) estoppel by deed (捺印証書による禁反言) Text p. 107↑8～
- (2) Deedがある場合の出訴期限 (英: 12 years $\leftrightarrow$ 6 years for a simple contract)
- (3) Bail bondの提出先——(拘置所ではなく)裁判所 (e.g., NY Crim. Proc. L. § 520.20)

V. アメリカ契約法

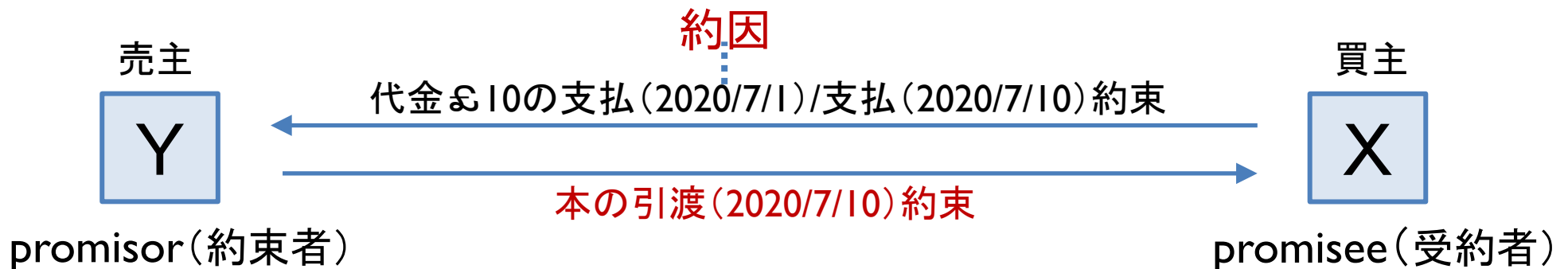
3. 約因

(1) 約因の定義——Consideration という言葉

2020/7/1 契約成立



Y promised to pay to X ten pounds in consideration of a book delivered by X; in consideration that X would deliver to Y a book...

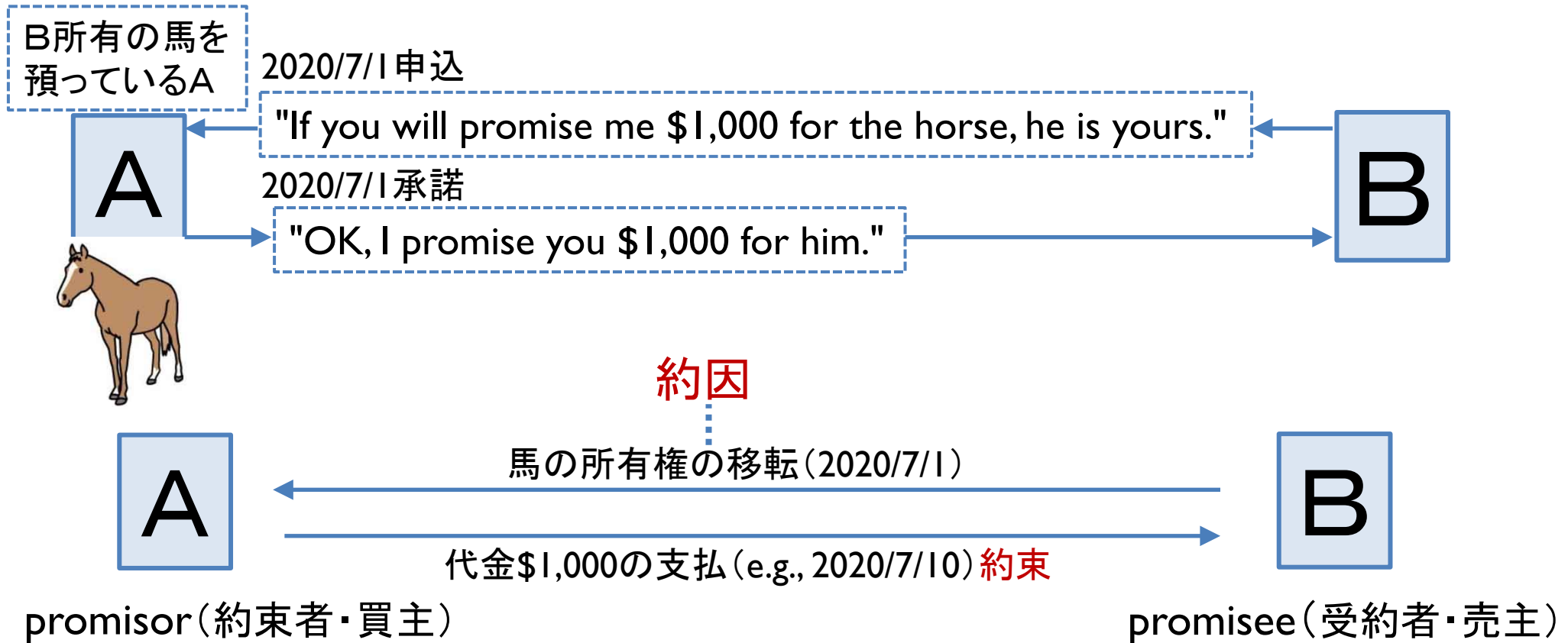


Y promised to deliver to X a book in consideration of ten pounds paid by X; in consideration that X would pay to Y ten pounds...

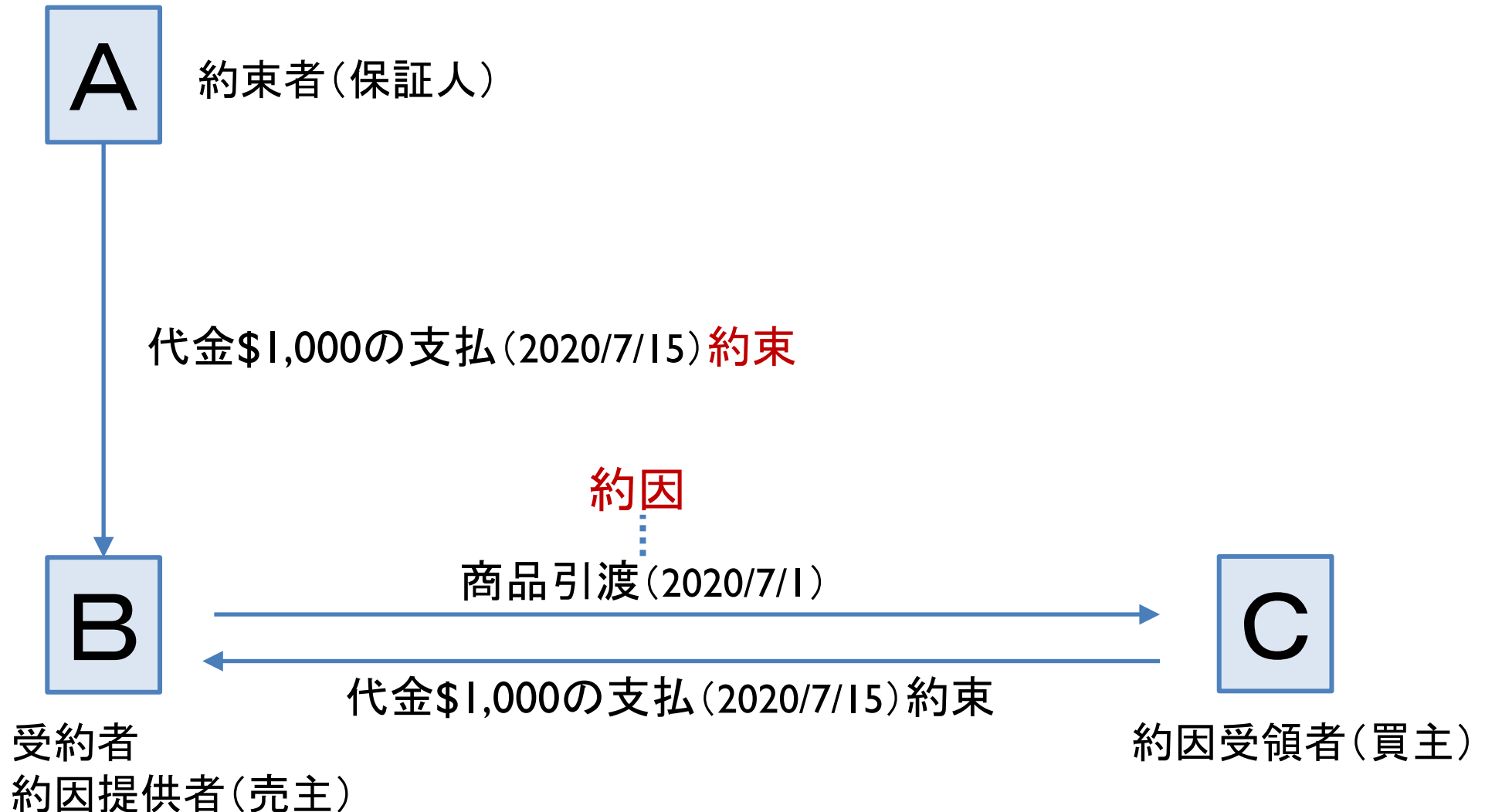
(1) 約因の定義: Restatement 2d § 71

[(3)(c) the creation, modification, or destruction of a legal relation.]

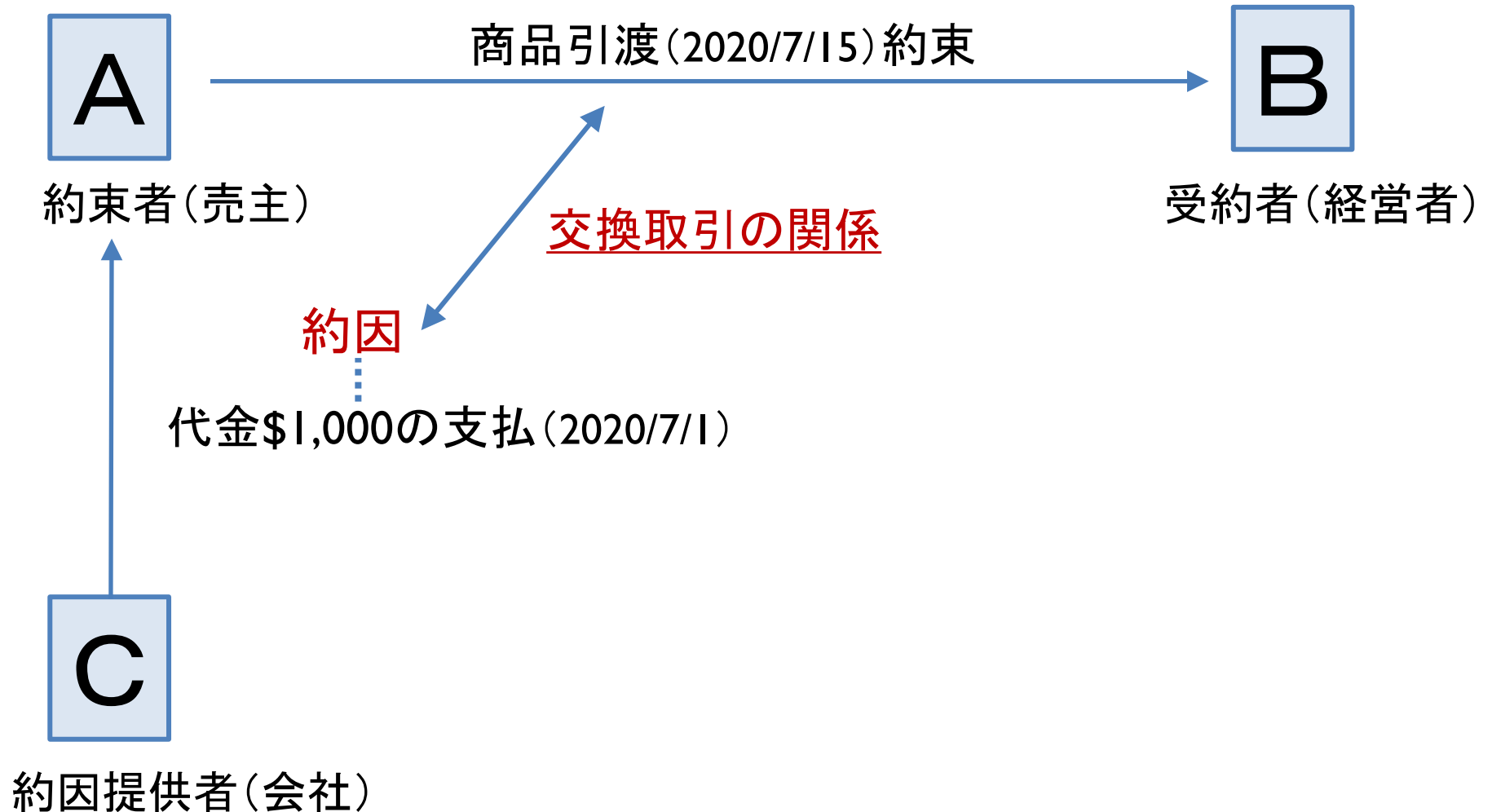
Restatement 2d § 71, illustration 11 at 176 (unilateral contract)



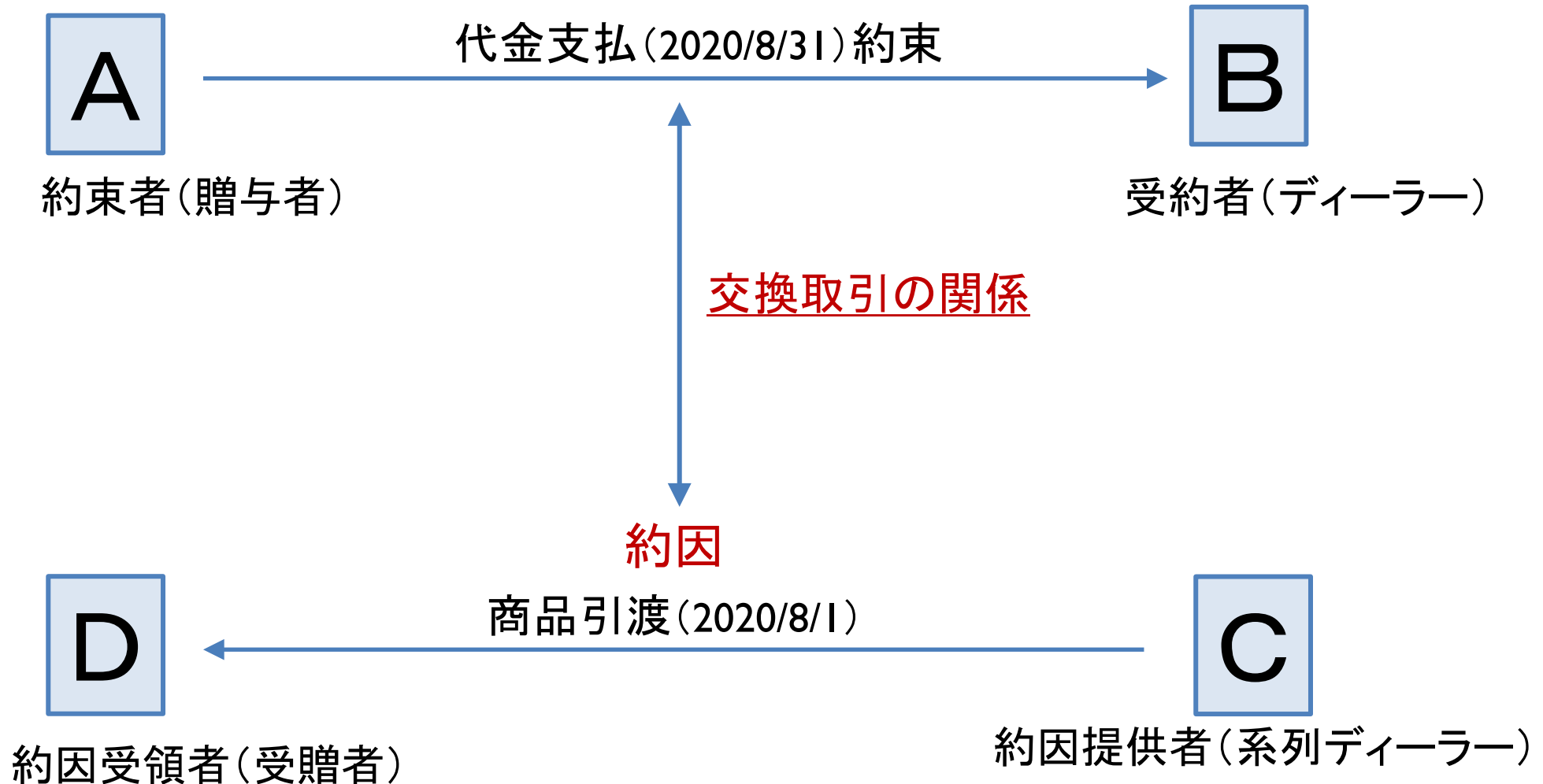
(2) 約因の提供者・受領者 ①第三者へ提供される約因



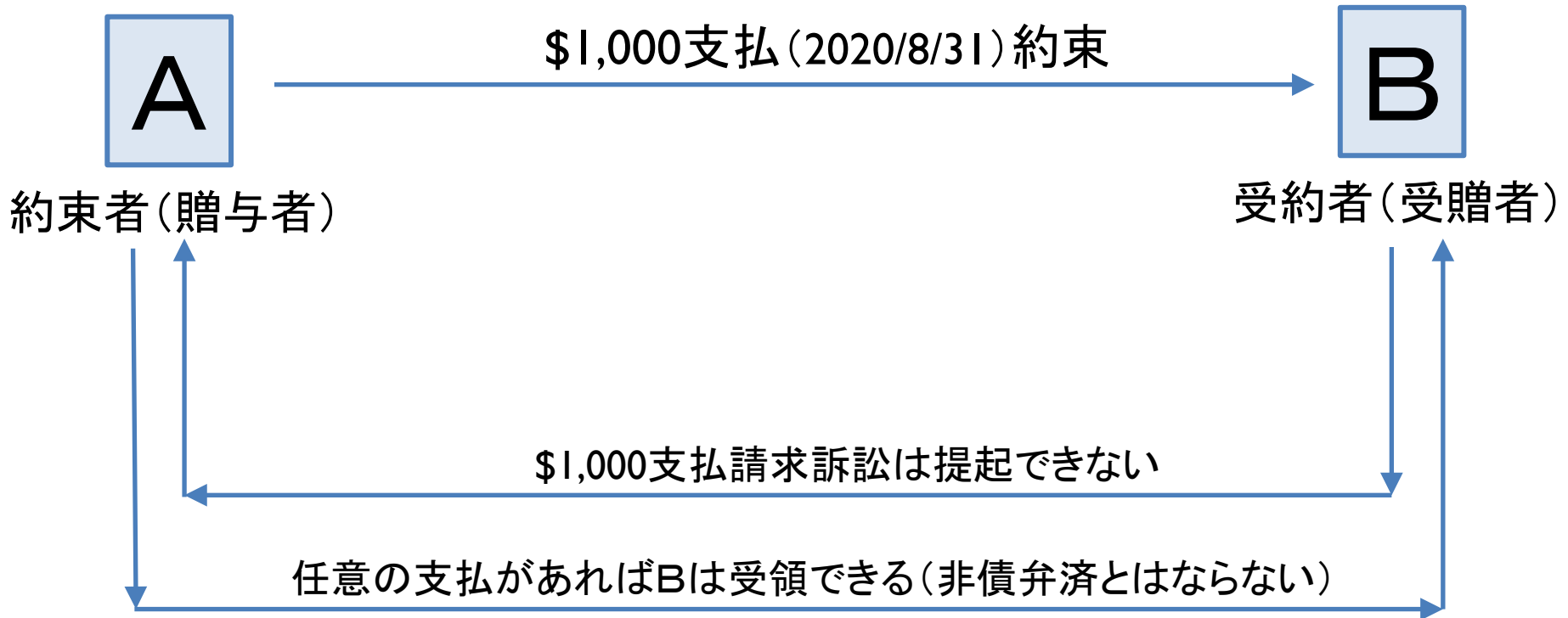
(2) 約因の提供者・受領者 ②第三者から提供される約因



(2) 約因の提供者・受領者 ③ 第三者から第三者へ提供される約因



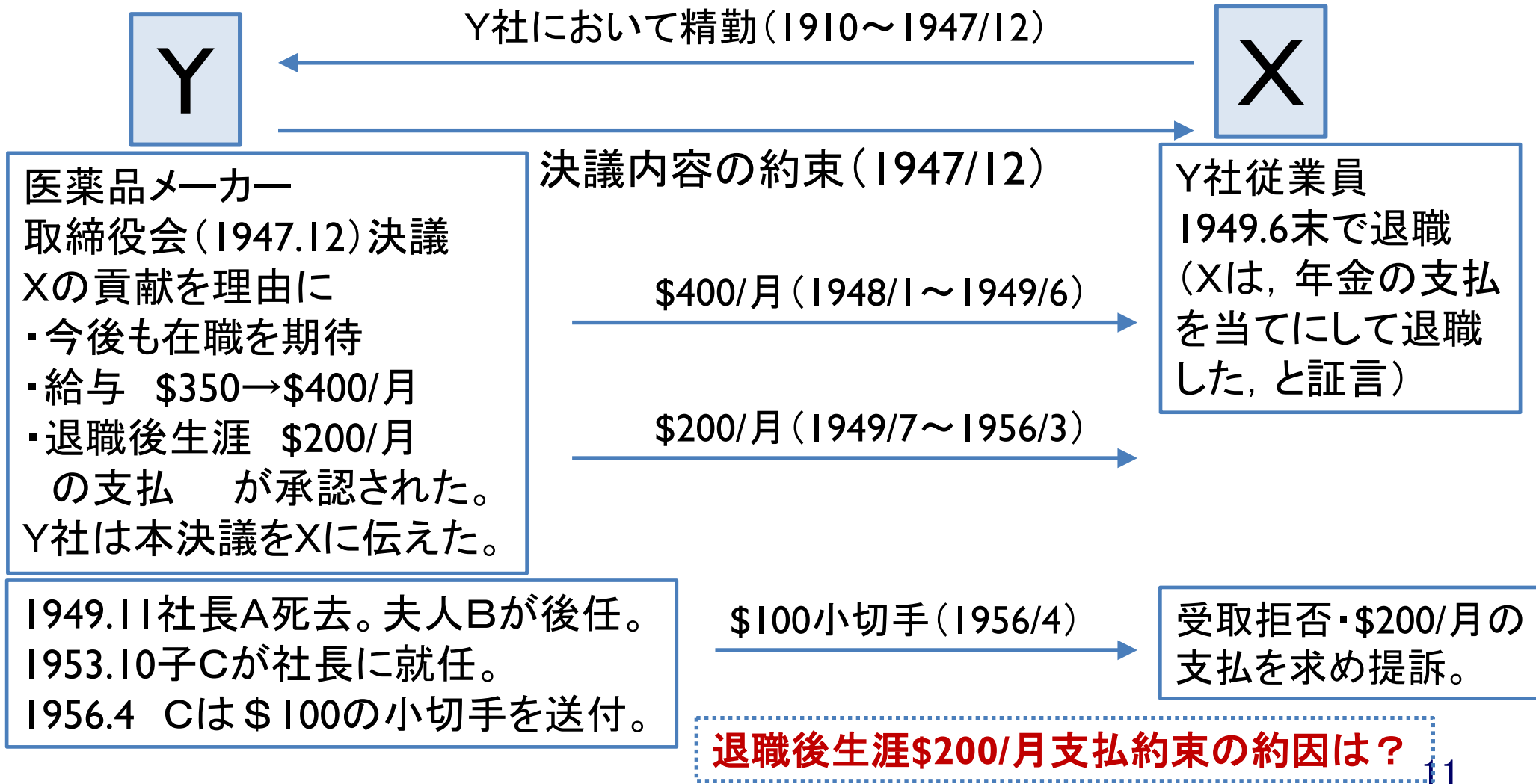
(3) 約因を欠く約束 (a) 贈与の約束



unenforceable contract : (a)詐欺防止法の要件を満たさない契約,
(b)出訴期限を徒過した契約, (c)約因を欠く契約
——その履行について法が介入しない契約

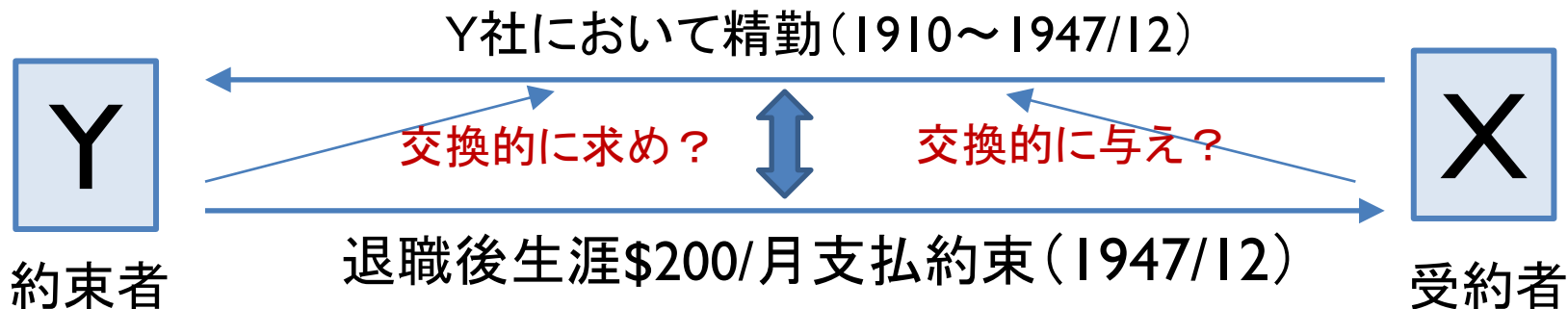
(3) 約因を欠く約束 (b) 過去の約因・動機

Feinberg v. Pfeiffer Co., 322 S.W.2d 163 (Mo. Ct. App. 1959)



(3) 約因を欠く約束 (b) 過去の約因・動機

Feinberg v. Pfeiffer Co., 322 S.W.2d 163 (Mo. Ct. App. 1959)



Restatement 2d § 71

(2) A performance or return promise is bargained for if it is sought by the promisor in exchange for his promise and is given by the promisee in exchange for that promise.

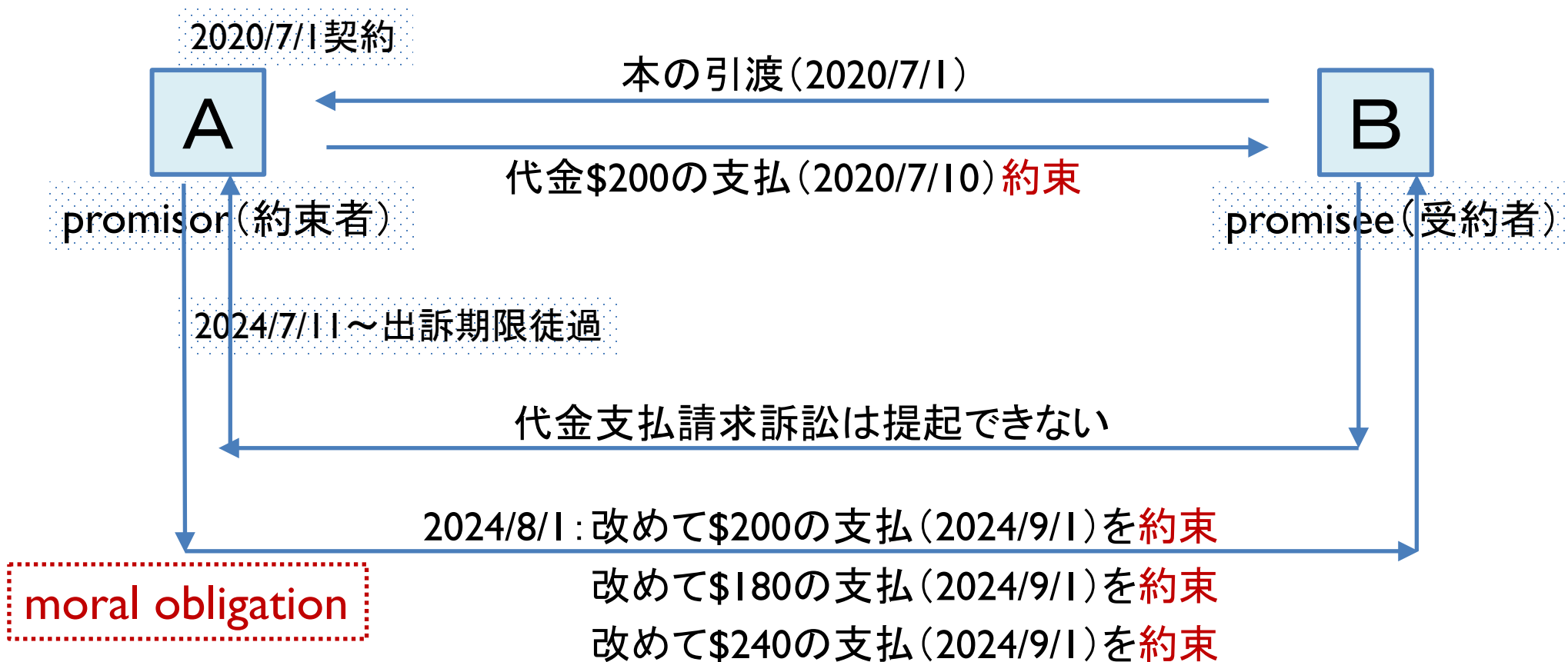
交換取引の要件を満たすためには、

約因は約束と同時または将来のものであることが必要

⇒ 約束の時点以前のことは約因として有効ではない

(3) (c) 過去の約因は無効という原則の例外——道徳的義務

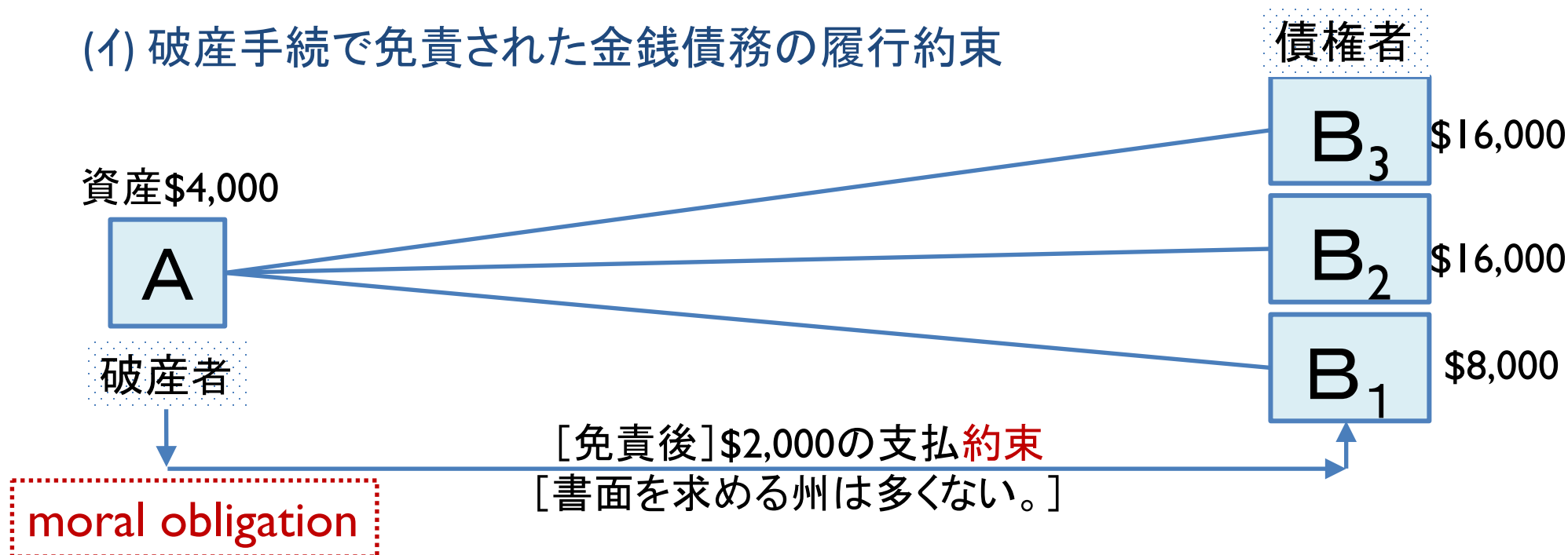
(1) 出訴期限の徒過した債務の履行約束



Bが新たな約束に基づいて提訴するためには、その約束が記載されたAの署名ある書面が必要 (Lord Tenterden's Act, 1828. 英国では廃止)。

(3) (c) 過去の約因は無効という原則の例外——道徳的義務

(1) 破産手続で免責された金銭債務の履行約束



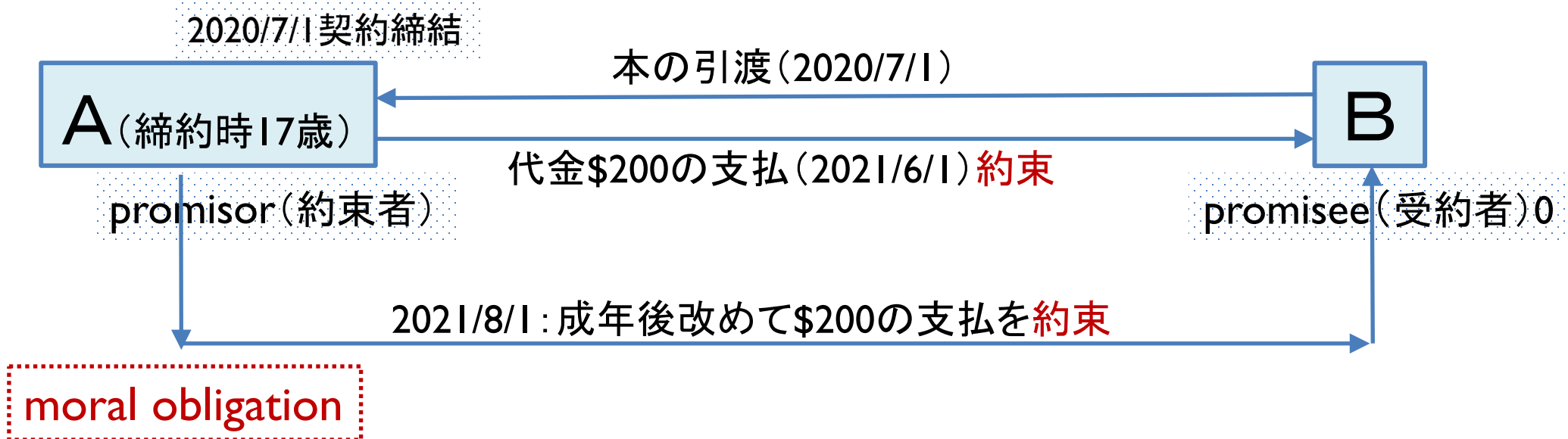
(c)(1)破産手続において免責の宣言を受けた金銭債務についてなされる支払約束が拘束力を認められるために連邦破産法(11 U.S.C. § 524 (d))が定める要件

支払約束をなす債務者があらかじめ裁判所の聴聞を受けること。そのさいに裁判所は、

- ①支払約束をする必要がないことを告知し、
- ②支払約束がなされた場合の効果、結果を説明し、
- ③約束が債務者とその被扶養者に対する不当な負担とならず、債務者の最善の利益となることなどを確認する。

(3) (c) 過去の約因は無効という原則の例外——道徳的義務

(1) 未成年者による約束の履行約束

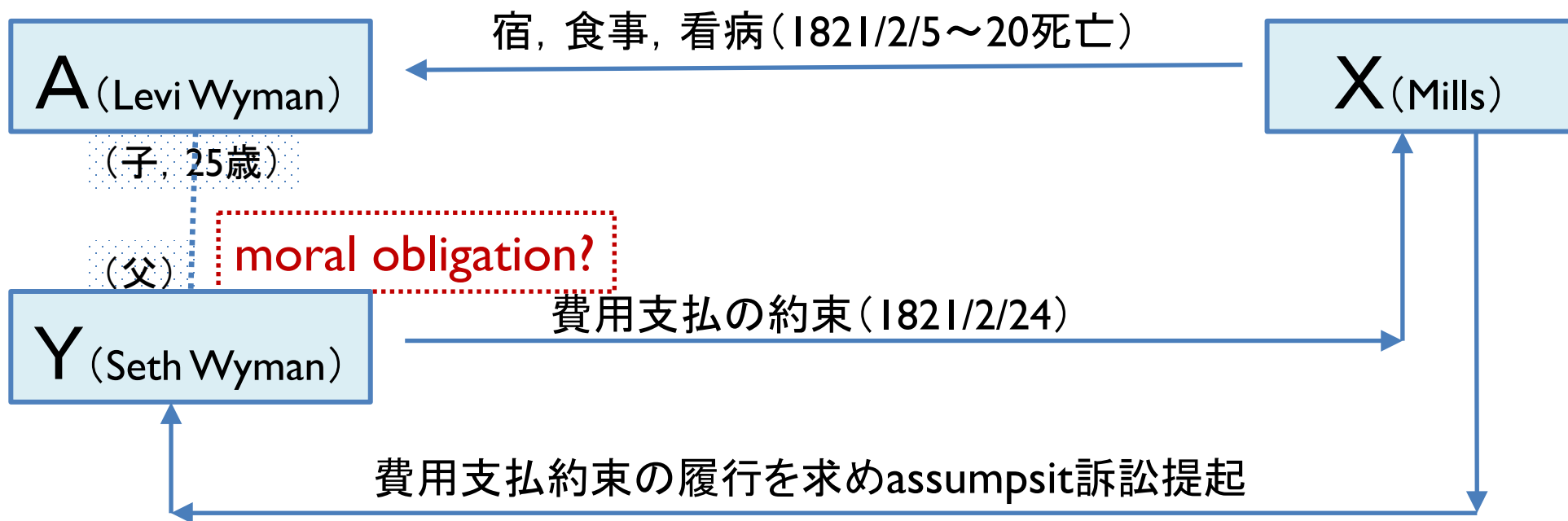


若干の州では、成年後改めてなされる約束について、署名ある書面でなされることが求められている。

(3) (c) 過去の約因は無効という原則の例外——道徳的義務

(ロ) 過去の利益受領に基づく約束

Mills v. Wyman, 20 Mass. 207(1825)



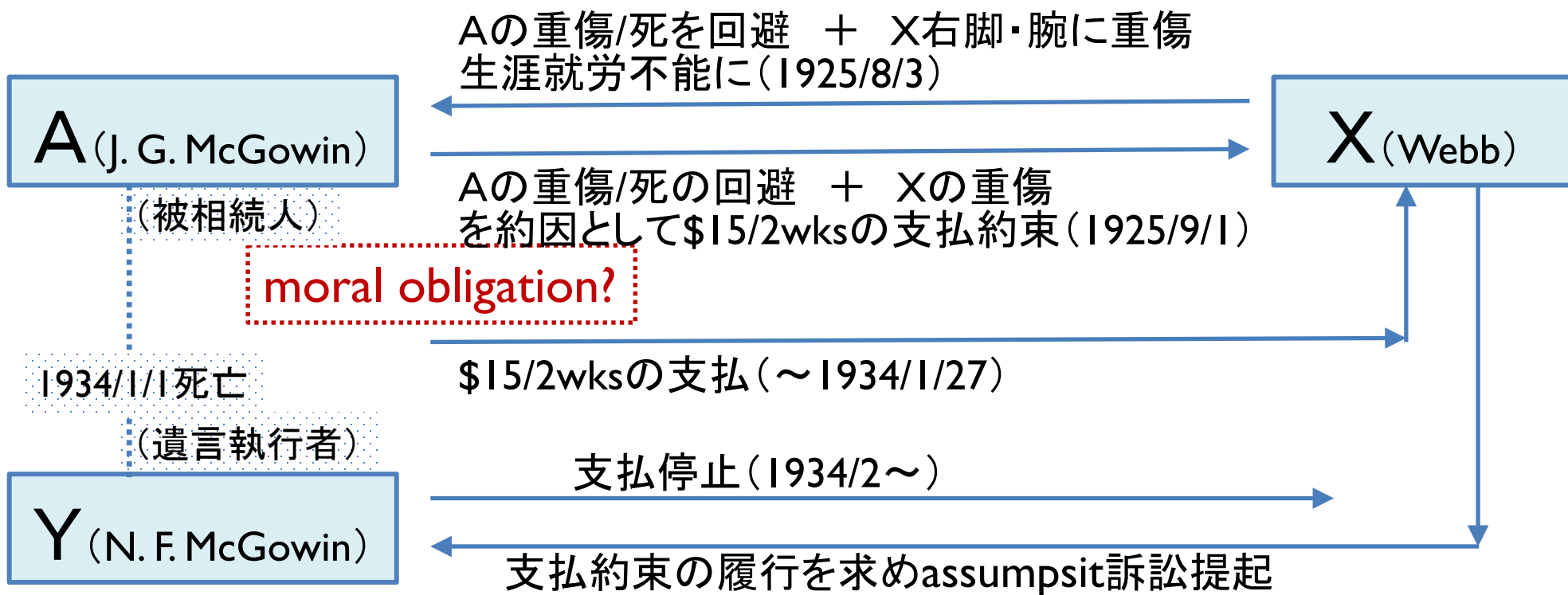
Court of Common Pleas directed a nonsuit. [訴えの却下を指示した。]

Supreme Judicial Court: 原判決支持。

(3) (c) 過去の約因は無効という原則の例外——道徳的義務

(ロ) 過去の利益受領に基づく約束

Webb v. McGowin, 27 Ala. App. 82, 168 So. 196(1935)



Circuit Court : Demurrerが認められ, 訴え却下。

Court of Appeals: 破棄差戻。[Certiorari denied by Supreme Court.]

Webb v. McGowin, 27 Ala. App. 82, 168 So. 196(1935)

